

平成 25 年度各教科・科目における探究的な学習等研究事業実施報告書

学校番号	23	学校名	県立沼津西高等学校
対象課程・学科・学年		全日制の課程・普通科・1年	

1 研究のねらい

本校生徒は、自ら課題を見つけて取り組む積極性にやや欠け、自分自身の考えを表現しアピールすることが、どちらかといえば不得意である。総合的な学習の時間だけでなく各教科・科目の学習の中でも、自ら課題を見つけて考察し、その内容を発表する力を身につけさせることが必要である。

2 研究の概要

(1) 探究的な学習を実施する教科・科目とその内容

国語「国語総合」：郷土ゆかりの文学者や文学作品について調べ、韻文等を創作する。

公民「現代社会」：本校の歴史、地域とのかかわりについて調べ、発表する。

理科「化学基礎」：本校周辺地域の環境を化学的に調べ、発表する。

情報「社会と情報」：沼津市周辺地域の情報を発信するホームページを作成し、地域の防災に関する問題点等について調べ、発表する。

(2) 期待される成果及びその検証方法

成果：自ら探し出した課題について調べ、考察し、発表できるようになる。

検証方法：発表会、レポートあるいは作品を提出させる。

3 実施日程及び内容

4月中旬～5月中旬：現代社会「本校の歴史と地域との関わり」について

7月～9月中旬：国語総合「県東部地域に関連した文学者・文学作品」について

9月中旬～10月中旬：社会と情報「沼津を全国に発信」について

1月～2月：社会と情報「県東部地域の防災」について

1月下旬～3月：化学基礎「県東部地域の水環境」について

4 実施上留意した事項

(1) 総合的な学習の時間「探求と表現」との連携

(2) 生徒の発表の仕方の工夫

(3) 設定した課題が適切であるかどうかの指導

(4) インターネット等で調べ学習をするときの情報源の吟味

5 研究の成果

(1) 芸術科の生徒に比べ、プレゼンテーションの機会が少ない普通科の生徒について、

その機会を複数回持つことができ、発表能力の向上や発表する際の問題点の発見につながった。

(2) 生徒の自主的な発想を生かす指導ができた。

(3) 教員が担当教科以外の授業実践を見ることによって、教科の枠を超えた授業の見直しにつなげることができた。

(4) インターネット上の情報だけでなく、地元の資料館や河川等に実際に出かけて行って実物を見てくるという活動ができたため、ネット情報に頼りがちな現代の生徒にとって貴重な体験となった。

6 実施上の課題及び解決策等

(1) 各科目に本研究を組み込んだことで、教科書内容の指導時間の確保に苦勞することがあったため、次年度以降は総合的な学習の時間を減ずることなく、今年度各科目で取り組んだ探究的学習を総合的な学習の時間に盛り込んで実施する予定である。

(2) 各科目及び総合的な学習の時間における、発表活動においては、新聞やパワーポイントのスライドなど、カラフルで表現力豊かな作品を作成できたが、それを用いて説明することについては、声が小さかったり下を向き続けていたりする状態で、効果的にプレゼンテーションできた生徒は少なかった。この点については、総合的な学習の時間を中心に、本年度研究に加わらなかった教科・科目も含め、すべての授業で発表能力の向上につながる指導に取り組む予定である。

(3) 設定した課題についての情報収集・整理の時間が十分でなかったため、せっかく良いテーマを設定しても内容を深めることができなかった。この点については、長期休業中に情報収集の時間を取るような計画を立てさせる予定である。

7 考察

課題の設定及び表現方法の工夫において、教員の予想を越える個性的なものが見られ、「自ら課題を見つけ、表現する」という点については、本校生徒の資質の高さを感じた。一方、設定した課題に対して、情報の収集等をする時間を十分につけられず、中途半端になる生徒も少なくなかった。

本研究事業により、活発な学習活動への生徒の取組が見られ、教員側も指導の工夫がなされ、授業改善のひとつとなった。来年度は、今年度のような形式ではなくなるが、探究的活動や言語活動としてのプレゼンテーションに今後も取り組んでいく必要がある。